

震災から3年が経ちました。3月11日には被災地についてたくさん報道されましたが、「復興」と呼べるにはまだ時間がかかりそうだと多くの方が感じられたのではないのでしょうか。このような状況の中ですが、HANDSも協力していたロタウイルスワクチンの無料接種が、岩手県の3市町でこの4月から自治体の全額公的助成により継続されるという嬉しいニュースも届きました。



子どもの健康を守る支援

子どもたちの健康をまもるための地域保健活動を支えます。



任意ワクチン
約14,000円/回
(自治体による)

ロタウイルスワクチン、岩手県2市1町で公的助成が実現

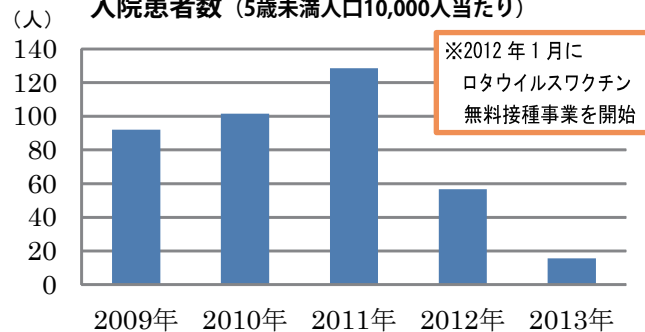
気仙地域ワクチン接種基金（日本小児科学会の医師や HANDS でつかったグループ）は、2012年からロタウイルスワクチンの無料接種事業を岩手県の陸前高田市と大船渡市、住田町でおこなってきました。ロタウイルスは主に冬に、乳幼児を中心に流行する胃腸炎の主な原因で、まれに死亡することもあります。

2013年の調査では、震災前に比べ5歳未満の子どもの胃腸炎による入院が84%も減ったことがわかりました。この無料接種が下痢や嘔吐が続く重症化から子どもたちをまもり、また保護者や医療者の少ない地域の医療機関の負担軽減にもつながったといえます。

多くの寄付者の皆さまに支えられ、2年3か月間の助成事業を継続してきましたが、成果が認められ、気仙地域2市1町による公的な全額助成がこの4月から開始されました。さらなる全国的な広がり、医療者からも期待が寄せられています。

気仙地域の5歳未満ロタウイルス胃腸炎・

入院患者数（5歳未満人口10,000人当たり）



※2012年1月に
ロタウイルスワクチン
無料接種事業を開始

岩手県立大船渡病院 瀧向透医師：第117回日本小児科学会発表（2014年4月）

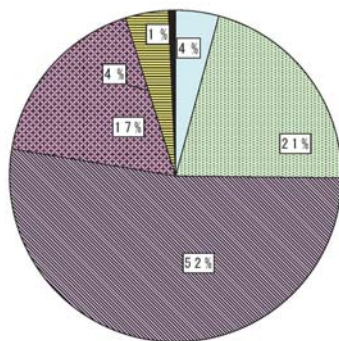
岩手県・陸前高田市

小学生の生活習慣を調査

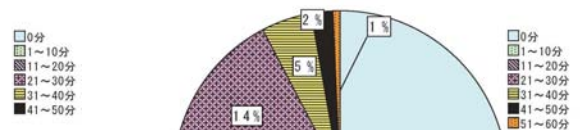
震災後、肥満傾向の子どもの増加が見られたことを受け、地元小児科医の要望で、この背景を探る調査の実施に協力しました。

小学生の保護者を対象に、食生活や自宅での余暇の過ごし方などの生活習慣を質問調査したところ、徒歩での通学時間や住宅環境の変化による普段の運動量の減少が見られました。また、「仮設住宅でボールをついていたりすると「うるさい」と言われ、外に出れば危ないと言われてしまう。なかなか思うようには遊べ

《震災前》徒歩通学時間



《震災後》徒歩通学時間



※震災後、徒歩通学をしていない児童の数が約10倍に増加。

ない」といった運動する場所の制限に関する声も目立ちました。

復興工事によりトラックなどが多く行き交うなか、徒歩通学は制限されています。また所狭しと建てられた仮設住宅では、近所迷惑への配慮から走り回ったり、大声で笑ったりすることにも気を遣う、

体を動かし自由に遊べる場所は、安全に歩いて行ける場所には無いといった様子も浮かんできます。大人だけではなく、子どもも先の見えない復興・ストレスと戦い続けています。



子育てしやすいまちづくり支援

子どもたちのために高田をよくしていきたいとがんばっている、
地元の子育て支援に関わる皆さんのお手伝いをしています。



特定非営利活動法人 HANDS

2014
3/12

緑と土に触れてリフレッシュ

～子育てにかかわる皆さんにホッとできるひとときを～

今回は子育て支援センター「あゆっこ」に通う保護者やスタッフを対象に「お豆とコケを使ったタオルハンガーづくり」と「寄せ植え」体験をおこないました。

タオルハンガーづくりでは、普段、あまり見ない色も形も様々な豆とコケに大人も子どもも興味津々。思い思いの順番で細い透明なホースに豆とコケを入れたオリジナルハンガーの



写真ピックつきの寄せ植え

完成にみんな笑顔がこぼれていました。寄せ植えでは、あゆっこのスタッフから卒業する園児にプレゼントされた「子どもたちの顔写真付きピック」を完成した鉢に刺し、子どもたちもご満悦。緑や土に触れ、楽しくリラックスできる機会になりました。

※本イベントは千葉大学と共同で実施しました。HANDSがこれまでおこなってきたあゆっこの活動サポートを、今後千葉大学に引き継いでいく予定です。



タオルハンガーづくりの様子



完成した
タオルハンガー

2014
4/11

がんばっぺし！陸前高田

～復興に向けた取り組みと国際協力のつながり～
を東京で開催しました

「陸前高田まちづくり協働センター」でまちづくりに携わる方々の活動を支える仕事をされている黄川田美和さんと、福井県から震災直後に陸前高田市へ入り、観光・商業面での支援をおこなっている「一般社団法人あひすプロジェクト」の後藤勇一さんをお迎えしました。

首都圏以外の遠方からもご参加いただき、定員を超える参加者が集まりました。お二人に直接、陸前高田の現状についてお話いただいたことが大変喜ばれました。



★次回東北復興支援イベントのご案内★

2014年 6月6日(金)

家族と子どもの笑顔のために

～陸前高田の未来を育てる、現地の声を聴く～

ゲスト：NPO法人きらりんきっず 代表 伊藤昌子さん

陸前高田市で震災前より子育て支援グループを立ち上げ、震災後にはNPO法人化して精力的に活動する伊藤さんをゲストに迎え、東北の復興状況や親子支援の活動報告、今必要な支援などについてお話を伺います。

※お申込み・お問合せは下記までお願いします。

ご支援のお願い

「復興支援」とご指定いただいた寄付金は、「子どもの健康を守る支援」や「子育てしやすいまちづくり支援」のために活用させていただきます。

お名前、ご連絡先、寄付指定（「復興支援」と記載ください。無記入の場合は団体への寄付とさせていただきます）を、E-mail (info@hands.or.jp) またはFAXにて事前にご連絡の上、下記口座へお振込ください。

●郵便振込

口座番号 00170-6-409760
特定非営利活動法人 HANDS

●銀行振込

三菱東京UFJ銀行 本郷支店
普通 0015114 特定非営利活動法人 HANDS

●クレジットカードのご利用は、

Web サイト (www.hands.or.jp) より受け付けております。

世界の人のびとが自らのちからで健康に生きるために。

特定非営利活動法人 HANDS

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-20-7 山の手ビル 2F

TEL 03-5805-8565 FAX 03-5805-8667 E-mail info@hands.or.jp

活動内容は、ホームページやブログ、会報を通じて、ご報告します。

www.hands.or.jp